

本 時 案 (1 次 1 / 1)

1 主 眼

- ・ 四つの花びんに、水を一定量ずつ入れたときの水量と、伴って変わる数量を見つけ調べることができる。 (グループに分かれて調べるためのオリエンテーションを兼ねる。)

2 準 備

花びん 4 種、色水 4 種、B4用紙縦折りの帯15本 × 4、名前磁石

3 学習の展開

学習活動・学習内容	T 1 の働きかけ	T 2、T 3、T 4 の働きかけ
<p>1 四つの花びんにコップ 1 杯ずつ水を入れたとき、伴って変わる数量を見つけ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深さ ・ 重さ ・ 残りのかさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりと水を入れながら「変わったね。」と働きかけることにより、変わったものを見つけようとする意欲をもたせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの子どもたちの意欲付けになるよう、一人一人の表情を見て興味をもてるように働きかけていく。
<p>評 [関] (四つの花びんに水を一定量ずつ入れたときの水のかさと伴って変わる数量を見つけようとする。) 配慮： 伴って変わる数量について気付にくい児童には、花びんを持たせたり中を見せたりしながら変わったことについて気付かせていく。</p>		
<p>水をコップ1杯ずつ入れると、花びんの中の水の深さはどのように変わっていくだろう。</p>		
<p>2 花びんを選び、グループに分かれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形状に合わせた変化の課題選択 <p>(4グループに分かれて各教室で学習を進める。)</p> <p>3 花びんにコップで2dlずつ水を入れて深さを記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 深さの測り方 ・ 表による記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深さや形状に着目させて課題選択させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分にあった課題選択ができるように、子どもたちの相談にのる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題や子どもの実態に合わせて、指導担当を決めていく。 <p>(ここから、課題選択学習のため、4グループに1人ずつ指導者がつくことになる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループを自分の担当する教室に連れて行き、席や教室におけるマナー等を話しておく。 ・ 準備したB4の縦短冊の使い方を考えさせながら深さの測り方に気付かせる。 ・ 折れ線グラフの学習を想起させ、深さを読み取り記録するために表が有効であることに気付かせる。 		